

各学年PTA主催行事開催

10月5日開催の3学年レクレーション(クラス対抗バレーボール)、18日開催の2学年進路ガイダンス・修学旅行説明会、19日開催の1学年レクレーション(長縄跳び)とともに、保護者の皆様のご協力のもと、学年PTA主催行事が開催されました。



残り少ない行事を楽しむ(3年)

いも煮を作る3年保護者の皆さん



ガイダンスを通じ生き方を考える(2年)



3年生は就職試験、公務員試験、センター試験出願、大学・短大・専各学校のAO入試とそれぞれの進路希望に懸命に向かっており、この時期にホッとするレクレーションとなりました。2年生は卒業後の進路について、生き方を基本に据え、親子でともに考える機会となりました。1年生は入学して半年、高校生の生活リズムもでき、勉強に部活動に充実した生活の一コマを、保護者の皆様とともに楽しみました。保護者の皆様、大変お忙しい中ご協力いただき、誠にありがとうございました。



保護者も参加し、長縄飛びに挑戦(1年)

**インターハイ活動推進委員による
南東北インターハイのPR活動**

10月16日、来年夏開催の南東北インターハイPR活動をユアテックスタジアムで行い、本校からは生徒会長の**大泉花奈**さん(2年・白石南中出身)が参加しました。各種目では本校からも選手として、運営スタッフとして多くの部員が参加することになります。また、同じ時期に開催される全国高等学校総合文化祭(みやぎ総文2017)には、各文化部が出場、運営に参加して行きます。名取市文化会館では郷土芸能が開催され、本校生も運営に携わります。現在、各専門部のプレ大会が開催され、準備が本格的に始まっています。来年、北高生が地元開催インターハイ、総文祭で活躍できるよう、応援をよろしく願いいたします。

広報を行う大泉さん



書道部 毎日書道展・県高校生選抜書展で大活躍

この書展は9月16日~21日までせんだいメディアテークで開催され、**県知事賞 佐々木歩果**さん(3年・袋原中出身)、**仙台市教育長賞 猪股あすか**さん(3年・大河原中出身)が上位入選を果たしました。また、特選3名、秀作2名と多くの作品が入賞をしました。

毎日書展県知事賞を受賞して 書道部 佐々木歩果

私は今回、毎日書展で県知事賞を受賞することができました。出品した作品は「千字文」という千文字すべて違う漢字を書くもので、ひとつの作品を完成されるのに長い期間を要しました。一文字でも間違えるとやり直しになって



「千字文」作品の一部

しまうので、集中力を高め制作にあたりました。千字文を書き終えるまでに、外部講師の相澤隆雄先生や顧問の三塚雅久先生、部員の皆さんの指導と応援があり、そのおかげで作品を完成させることができました。これからも今回の受賞で学んだことを活かし、精進していきたいです。

女子バスケットボール部 県総合選手権大会出場!

東北から1チームの出場枠をかけたAllJapan(天皇・皇后杯)県予選が9月3日から開催されました。この大会は実業団、クラブ、大学とすべてのカテゴリーから出場し、本校女子チームは高校代表4チームに推薦され3回戦まで駒を進めました。また、全国選抜優勝大会(WinterCup)県予選本大会(10/15~)にも出場を果たしました。これから始まる新人大会での活躍が期待されます。



社会人相手にリバウンドを競う

運動部員 栄養学講座を受講

9月28日に運動部員106名が栄養学講座を受講しました。**味の素(株)スポーツニュートリション部 黒澤尚哉**様による講義を通じ、毎日の食事を始めとするカラダづくりを学びました。

勝てるカラダづくりを サッカー一部主将 安田将太(2年・岩沼中出身)

講義を通じて、食事の摂り方がいかに大切かを痛感しました。カラダを作るにはトレーニングだけでなく、補食のタイミングやたんぱく質の十分な摂取が必要であると分りました。また、試合の日の朝食の摂り方等、様々なことを学ぶことができました。今回の講座の内容を常に意識して、大会での良い結果に結び付けられるよう、努力して行きたいです。



【地区新人大会結果】(3位以内) サッカー2位/剣道男子団体3位/剣道女子団体優勝/弓道男子団体優勝、個人2位/弓道女子団体優勝、個人2位/バドミントン男子団体2位/バドミントン女子団体3位

(入賞結果は順次お知らせいたします)

「命の大切さを学ぶ教室～犯罪被害者遺族の思いと願い～」開催

11年前に犯罪被害で大切な娘さんを亡くされた八島定敏さんの講演（宮城県警主催）が8月24日体育館で開かれました。八島さんは「自分の悲しい経験を通じ、一人一人に自分や他人の命を大切にすることを考えてもらうことで、次世代を担う高校生の役に立ちたい」との思いで活動されており、講演の中で『恕』（自分がされたくないことは人にはしてはならないー思いやり）の大切さを強く訴えられました。

また、9月13日には「薬物乱用防止教室」が2年生対象に行われました。講師である北村哲治さん（仙台市薬剤師会長）のお話から、薬物の恐ろしさから身を守る大切さを学びました。



「恕」の文字を掲げ、思いやりを訴える八島さん



命の大切さを学ぶ教室講演を聞いて 松本裕也（1年・逢隈中出身）

海外ではテロや紛争で多くの命が奪われていることは知っていても、何となく日本では安心して暮らせることが当然だと思っていて、命そのものを考える機会がありませんでした。人格や個性を踏みこむ「いじめ」は決して許されることではないのに、いじめを根絶できないニュースも後を絶ちません。それは、命の大切さへの認識が低いからではないかと思えます。相手を思いやる気持ちは相手の命への思いにつながり、相手の命を考えることは自分の命を考えることでもあると感じました。小さなことではありますが、身近な家族友人の気持ちを考えることが大切であることを、この講演から学びました。

教職員 心肺蘇生（AED）講習会を実施



9月12日、名取市消防署から3名の職員の方を招き、心肺蘇生法の講習を実施しました。命を守るための呼吸の行動ができるように、毎年この時期に実施しています。消防署の皆様には、救急搬送等、生徒の命を守るために日夜ご協力をいただいております。当日、講師をしていただいた熊谷 優様からメッセージをいただきました。

助かる命を救うために

名取市消防本部 救急救命士 熊谷 優

先日、名取北高校さんへ伺い、校長先生を始め多くの先生方に心肺蘇生法やAEDの取り扱い、アナフィラキシーショックの対応等についての講習会に参加して頂きました。



胸骨圧迫や人工呼吸は訓練人形を使い実際に体験し、AEDも学校に備え付けのものを実際に確認する等有意義な内容で、先生方は毎年救命講習を開催し手技の再確認をしており、すばらしい心肺蘇生を行っていらっしゃいます。生徒の皆さんは名取市の救急出動件数をご存じでしょうか？

救急出動件数は年々増加しており、平成27年は年間2,987件の救急出動があり、今年3,000件を超す勢いです。名取市では3台の救急車を24時間体制で運用して救急要請に対応しています。救急車が到着するまでの時間は119番通報から全国平均で約8.6分かかります。救命は倒れた人の傍に居合わせた人（バイスタンダー）の手当が重要で、呼吸が止まっている場合には早期に胸骨圧迫を開始しAEDでの電気ショックを実施することで社会復帰の可能性が高まります。名取市消防署では毎月救命講習会を開催しておりますので、名取北高校の生徒の皆さんも是非参加して頂きたいと思えます。助かる命を救う為に協力よろしくお願ひします。

奉仕活動部 赤い羽根共同募金運動に参加

10月1日、名取イオンモールで募金活動を行いました。

また、奉仕活動部の活動について、8月16日、(一財)風に立つライオン基金（設立者：さだまさし様）より若獅子賞、ボランティアアワード表彰、風に立つライオンユース認定を受けました。市民の皆様と交流を大切に、今後も活動を続けて行きます。



小さな子ども連れの家族から募金を受けている様子

P T A 研修旅行実施

10月15日、24名が参加し、東北学院大学（土樋キャンパス）見学、陶芸体験（秋保焼石神窯）、ニッカウイスキー工場見学と、楽しく充実した研修を行いました。参加いただきました皆様、ありがとうございました。



東北学院大正門前にて



鑑賞したいと思いましたが、本質を見抜くことの大切さを改めて感じました。また、鑑賞したいと思

10月12日、名取市文化会館で劇団芸優座の皆さんによるシエクスピアの喜劇の中でも最も有名な劇の一つ、『ペニスの商人』を鑑賞しました。迫力ある演技や演出、細部までこだわって作られた舞台装置に心を掴まれ、とても感動しました。また、笑いの要素が多くあり、特にグラシアノーとネリサの掛け合いのシーンでは、会場は笑いに包まれました。この作品を見終えて、「綺麗な見かけに心を奪われずに、物の本質を見抜くことの大切さ」を改めて感じました。また、鑑賞したいと思



芸術鑑賞会に参加して 図書委員会委員長 遠嶋あみ（3年・北海道・白翔中出身）

【宮城県名取北高等学校】

〒981-1224 宮城県名取市増田字柳田103

TEL 022-382-1261 FAX 022-384-8976

HP <http://natorikita.myswan.ne.jp>

mail chief@natorikita.myswan.ne.jp

(担当) 教頭・町田尚彦

(学校だよりのご感想をお寄せください)

